

美術博物館祭2017～博物館を楽しもう～

▶ 美術博物館 ☎(35)2550

美術博物館祭2017は、特に博物館を見て、学んで、楽しむイベントです。苦小牧の自然・歴史・文化芸術に触れることのできるさまざまなプログラムを用意しています。夏休みは家族みんなで美術博物館へ遊びに来ませんか

📅 7月28日(金)～30日(日)

※28日、29日は開館時間を延長して20時まで開館しています

📍 美術博物館

💰 一般300円 高大生200円

小・中学生以下無料



美術博物館祭2017 プログラム一覧		28日	29日	30日
みる	① 特別展 「水から未来を紡いで 20世紀美術の創造」	●	●	●
	② 中庭展示 Vol.9 松井紫朗 「Channel」	●	●	●
	③ 展示室で苦小牧の自然を観察しよう		●	●
つくる	④ からくり箱をつくろう		●	
	⑤ キラキラ鉱物をつくろう			●
	⑥ 軟石であそぼう			●
	⑦ 昔のあそび「まゆ玉ころがし」			●
まなぶ	⑧ こどもサイエンスカフェ 「二酸化炭素のふしぎ」		●	
	⑨ 石器わくわく教室		●	
	⑩ 縄文人のごはんでつくる植物のしおり			●
ナイトプログラム	⑪ プロジェクションマッピング 「苦小牧の自然と歴史を光アートでみてみよう！」	●	●	
	⑫ ナイトツアー	●	●	
オープンプログラム	⑬ 展示クイズ		●	●
	⑭ バルーンアート体験		●	

※上記の行事参加については無料です (ただし②③⑪⑫⑬は観覧料が必要)。④⑦⑧は事前に申し込みが必要です

※詳しいタイムスケジュールは美術博物館HPまたはイベントポスターをご覧ください

注目のプログラムをご紹介します!!

⑧ こどもサイエンスカフェ

身近にある二酸化炭素を使った実験を通じて、地球温暖化やその対策の一つであるCCSについて学ぼう

協力：日本CCS調査株式会社



④ からくり箱をつくろう

江戸時代に北海道と本州を行き来していた北前船。船では、からくりの技法を用いた金庫「船筆筥」が使われていました。船筆筥の歴史を学びながら、簡単な仕掛けのからくり箱を作ってみよう



⑨ 石器わくわく教室

大昔の生活に欠くことのできなかった弓や槍、ナイフなどとして使われていた石器。縄文人と同じように石器を作る様子を見学します。出来上がった切れ味鋭い石器を使って実際に紙を切ってみよう



⑤ キラキラ鉱物をつくろう

紫外線を当てると固まる樹脂を使って、さまざまな色や形の自分だけの鉱物の標本を作ってみよう



⑪ プロジェクションマッピング

常設展示「アイヌの丸木舟」と「地層はざとりの資料」について、光を使って、苦小牧のまちや樽前山の火山の歴史について解説。プロジェクションマッピングの幻想的な世界を体験してみよう

制作：千歳科学技術大学ライトアート工房



⑥ 軟石であそぼう

溶岩が冷え固まってできた軟石は、北海道において建築素材として使われてきました。苦小牧の古い建物にも使われている軟石をノミや彫刻刀などを使って加工、色付けの工作体験をしてみよう

